

財務報告

2013年度の決算は、新日本有限責任監査法人様とのアドバイザリー契約のもと、NPO 会計基準に則り確定しました。そのハイライト版を公開しています。

貸借対照表 2013年8月31日現在

活動計算書 2012年9月1日～13年8月31日

科目・摘要	金額 (単位:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金及び預金	26,353,518	
先掛金	38,570,719	
貯蔵品	349,862	
立替金	65,401	
前払費用	2,515,300	
未収入金	2,327,395	
流動資産合計		70,182,195
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		
建物	19,761,751	
建物附属設備	2,232,962	
車両運搬具	9,172,154	
土地	2,400,000	
建設仮勘定	16,324,500	
有形固定資産計		49,891,367
(2) 無形固定資産		
ソフトウェア	1,756,872	
無形固定資産計		1,756,872
(3) 投資その他の資産		
NPOが東北復興支援基金用預金特定資産	225,286,562	
長期前払費用	108,270	
敷金	2,291,500	
投資その他の資産計		227,686,332
固定資産合計		279,334,571
資産の部合計		349,516,766
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	20,034,971	
預り金	1,957,725	
未払法人税等	214,000	
未払消費税等	5,860,200	
前受金	4,915,915	
流動負債合計		32,982,811
負債の部合計		32,982,811
III 正味財産の部		
1 指定正味財産		
NPOカタリバ東北復興支援基金	246,071,157	
指定正味財産合計		246,071,157
2 一般正味財産		
前期繰越正味財産	71,623,880	
当期一般正味財産増加額	△ 1,161,082	
一般正味財産		70,462,798
正味財産の部合計		316,533,955
負債の部及び正味財産の部合計		349,516,766

科目	金額 (単位:円)	
一般正味財産増減の部		
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	1,440,000	
賛助会員受取会費	5,006,000	
団体会員受取会費	50,000	6,496,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	57,315,037	
指定正味財産の部より受取寄付金振替額	23,462,100	80,777,137
3. 受取助成金等		
受取国庫補助金等	1,162,087	
受取民間助成金	900,000	2,062,087
4. 事業収益		
人づくりを通じた社会活性化に関する事業収益	742,420	
キャリア学習イベント等活動の企画・実施事業収益	46,688,454	
災害等により学習環境に恵まれない人たちのための、通信教育、学習相談その他の教育事業収益	119,279,694	
普及啓発事業収益	4,241,163	170,951,731
5. その他収益		
受取利息	41,351	
為替差益	1,187,080	
雑収入(注)	10,107,492	11,335,923
経常収益計		271,622,878
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費	137,900,752	
(2) その他経費	106,998,721	
事業費合計		244,899,473
2. 管理費		
(1) 人件費	6,809,569	
(2) その他経費	20,860,918	
管理費合計		27,670,487
経常費用計		272,569,960
当期経常増加額		△ 947,082
税引前当期一般正味財産増加額		△ 947,082
法人税、住民税及び事業税		214,000
当期一般正味財産増加額		△ 1,161,082
前期繰越一般正味財産額		71,623,880
次期繰越一般正味財産		70,462,798
指定正味財産増減の部		
I 受取寄付金		167,102,466
II 受取助成金		
受取民間助成金		17,160,647
III 一般正味財産への振替額		△ 23,462,100
当期指定正味財産増加額		160,801,013
前期繰越指定正味財産額		85,270,144
次期繰越指定正味財産		246,071,157
次期繰越正味財産		316,533,955

(注)雑収入 10,107,492円のうち8,944,390円は借上社宅の従業員自己負担分の収入となっております。

東北復興事業への寄付金の活用方針につきまして — 2012年6月に公表したニュースリリースより抜粋 —

2011年度、東北復興事業の開始による寄付収入の増加などに伴い、総収入は316百万円(10年度66百万円)と増加しました。一方、スタッフの雇用や送迎バス代などコラボ・スクールの運営費も加わった結果、経常費用も172百万円(10年度61百万円)と増加しました。コラボ・スクールは、当初の計画を延長して数年間継続的に運営する予定ですが(※詳しくはp20参照)、継続的な事業展開を前提にした財務計画では、現状では2013年度には運営資金が不足する試算となっております。また、2011年度には多数の法人・個人からご寄付をいただきましたが、東日本大震災から時間が経過するとともに、金額も減少することを想定しております。そこで、2011年度に東北復興事業への使用を目的としていただいた寄付金・助成金234百万円のうち、131百万円を「一般正味財産」に振替えて11年度の支出に充て、残りの102百万円を「指定正味財産」として、12年度以降に繰越して使用いたします。この指定正味財産が公正に管理され、東北復興事業に適正に活用されるため、NPOカタリバ内に「NPOカタリバ東北復興支援基金」を設立いたしました。基金は、NPOカタリバが行う他の特定非営利活動資金と区分するとともに、基金の被災地支援活動費への取崩しについては、毎期首に事業計画を検討し、理事会の決定をもって行うなど、基金の公正な活用に注力してまいります。NPOカタリバは、2011年度にいただいた寄付金を、公正かつ長期的に運用しながら、被災地に根を下ろした継続的な支援活動を行ってまいります。また、コラボ・スクールの数年間の継続的運営を前提に、想定される資金不足に対処するため、引き続きファンドレイジングに注力するとともに、行政予算や事業収入などさまざまな関係者との協働による運営資金の調達にも、チャレンジいたします。これらにより活動の持続可能性を担保したうえで、「東北から、10年後のイノベーターを輩出する」を目指して教育活動を行ってまいります。